

2025年度 名古屋芸術大学 入学試験問題
総合型選抜 B方式(実技・小論文型) 3期

入試問題

試験科目:「小論文」

日 程:2025年2月8日(土)

試験時間:50分 / 解答字数:800字程度

芸術学部 芸術学科 デザイン 領域

対象コース:全コース

[課題]

何かを作り出そうとするとき、デジタルや機械による先端技術が現代では使われていますが、それがなかったアナログな時代では、どんなものも人の手によって作り出されてきました。そして現在私たちは先端技術と、人の手や体験による作業を組み合わせでデザインをしています。

あなたの身の周りにあるデザインの中から、先端技術を使ったデザインと、人の手や体験を使ったデザインをひとつずつ例に挙げ、それぞれの良さを論じなさい。

[出題の意図等] ※問題用紙には記載されません。

デジタル先端技術が若者世代で浸透し当たり前となっている現代において、手作業で何かをデザイン・創造する事は減少し、そのことについて体感し考察する機会が失われつつある。

本学に入学を希望する学生が、デザイン活動においての先端技術の使用と、人の手による作業についてどのように考えているのかを問う問題である。